

2020年度 第7回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2020年10月26日（月）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時30分

○ 出席委員の氏名

教育長 嶋 公 治

委員（教育長職務代理者） 佐伯 和亜

委員 向井 美紀

委員 飯田 正巳

委員 成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	こども教育課長	飯塚 智士
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	惠後原 博美
	こども育成課長	木下 直樹
	教育総務課参事兼課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	竹内 有子

事務局以外

文化振興課長 米田 紀子

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認

2020年9月24日（木）開催 第6回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) 第71回豊岡市美術展審査結果について
- (2) 小学生を対象とした公演事業について

第5 議事

- 議案第27号 豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について
- 報告第22号 兵庫県豊岡市立新田小学校長印の新調（改刻・廃止）について
- 報告第23号 寄附物件の受納について
- 報告第24号 豊岡市立特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- 報告第25号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について
- 報告第26号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 「小中学校のあり方意見交換会」について（中間報告）

2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 就学時健康診断の日程について
- (3) 「修学旅行」「自然学校」「トライやる・ウィーク」の日程等について
- (4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 2021年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について
- (2) 2021年度放課後児童クラブの入所者募集について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただ今から、2020年度第7回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、向井委員にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。9月24日に開催しました第6回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回9月24日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

小中学校の修学旅行は、各学校で進めているところである。キャンセルなどで中止になるようなところは1校もない。実施した校長が復命を上げてくるが、いい意味で、これまでになかったような復命がある。例えば、ある学校は市外に行くことができなかったの、一泊二日で市内の見学や体験活動をした。その学校の校長は、「よい旅行とは、遠いところへ行くことや長い日数行くことではない。このことを生徒に伝えて、そこから引っ張って、今後、よい学級・よい学校づくりに生かされること、修学旅行が改めてよい学級・よい学校とはどういうことかということ問いかけるきっかけになってきている」と書いている。それから、ある小学校では、見学施設やホテル、バスが感染症対策を徹底的にやってくれたことに感心していた。また、ある中学校では、「コロナに負けるな3年生」をスローガンに、この当たり前でない修学旅行に感謝したいということで、この気持ちがこれからのひとつひとつの行事に反映できることではないかと思った。イレギュラーではあったが、それぞれの学校が工夫して、いい修学旅行を作ってくれつつある。

次に、トライやる・ウィークもコロナ禍の状況で受け入れてもらえるところがなかなかないため、社会貢献や奉仕作業のような活動等を行っている。その中で、あいさつや言葉遣い、時間を守ること、社会に出てから活動するのに重要なことを勉強していくという、こういうトライやるもあってよいと思った。

それらか、今日午前中に「文化と教育の先端自治体連合「第2回オンライン大会」」が実施され、非認知能力についての講演があった。改めて教育委員に説明しておくが、もともとコミュニ

ケーション能力が必要だということで、平田氏にお世話になり、4年前から小学6年生と中学1年生でコミュニケーション教育を行った。その後、貧困対策として、この貧困をどう解決するかということで、子どもの学力を伸ばすことで貧困の連鎖を断ち切ろうという考え方で、福祉と教育委員会が一緒になって計画をした。学力テストで分かってきたように、非認知能力を伸ばすと社会的背景が低くても、一定程度の非認知能力が付き、学力に反映するということが分かってきて、それで取組んでいるが、「頑張り抜く力」、「協働する力」、「自分を律する力」というのは、今更ながらという話ですが、ずっと前からやっている。でも、なぜ今なのかというと、ポイントは2つあり、そのことが大事だと思ったが、数値で見えなかった。自主性や頑張り抜く力が今どれくらいついているのかということが数値で分からなかったのが、数値で見えかけたので、全国がそのことに興味を持ち始めたということがひとつである。2つ目は、頑張り抜く力といったものは「資質」で、もともと持っている性分なので、それは変えられないということで、ずっときていた。「あの子は努力家だ」とか、「最後までやる忍耐力がある」などと言って片付けていたが、そうではなく、可変性といって、そのことが変化するということが分かってきた。例えば、以前話したが、マシュマロテストというものがあって、15分後にここに帰ってきて、我慢できたら2個あげるよと伝える。これは我慢する力であるが、これも、元々我慢する力はあったと今までは思っていたが、ひとつのヒント、アクション、例えば、目をつぶってマシュマロを見ないとか、歌を歌って他のことを考えるとか、寝てしまうとか、そのようなヒントを与えると我慢できる、そのヒントというのはプレアクションなので、そういう引き出しをたくさん持っていたら、我慢する力もできるし、協働性もできるので、学校の教育の中で変えうることができる力だという考え方に変わってきた。だから、教育の中でそれを入れていく。考え方としては以前からあったが、教育の力で何とかしようと豊岡はたまたま演劇の力を借りながらやろうとしていることだという認識を改めて知っていただきたいと思う。

それから、授業との連動の話だが、日高西中と出石中で演劇の手法を取り入れた一般の授業をやっている。田野さんという方が来てくれて、中学校の国語で自分たちで短歌を作って、短歌ができる過程を演劇にして発表するというような授業をしていて、その中で田野さんが注目しているところが、グループを見ていて、役割を観察すると、意見を言う役割の子、それから、意見を聞いて、それがいいねと言う役割の子、違うと思うと言って反対の意見を言う役割の子、頷くとか笑顔でいるとか話さないけれどもノンバーバルな表し方をする役割の子、その子たちが演劇を作ることによって、役割がどう変化していくのかということを見ていく。子どもの見方が以前と違って、できた・できないではなく、やっている過程でどう変わっていくのかということ私たちは見なければならぬという、そんな示唆があったので、これは授業に変えていく、それから、コミュニケーション教育が教科教育に生きる大きなヒントは子どもたちの見方、先生たちの子どもたちへの鑑識眼だということが私は分かってきたような気がするので、引き続きそれをやっていきたいと思う。

【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

それでは、日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。

文化振興課 (1) 第71回豊岡市美術展審査結果について、文化振興課長の説明をお願いします。

1 文化振興課

(1) 第71回豊岡市美術展審査結果について

《文化振興課長の説明概要》

第71回豊岡市美術展審査結果について、資料に基づき説明する。

例年、表彰式で渡ししている豊岡市美術展目録を本日配付させていただいた。学校、各受賞者にも通知を行う予定である。

児童生徒の部は、図画の部は昨年より169点少なく、書道の部では18点少ない。展示は、入選以上を展示するが、例年と変わらない展示数の予定である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2) 小学生を対象とした公演事業について、文化振興課長の説明をお願いします。

(2) 小学生を対象とした公演事業について

《文化振興課長の説明概要》

小学生を対象とした公演事業について、資料に基づき説明する。

市内全小学2年生を対象にした参加型演劇「サンタクロース会議」公演を11月6日から11会場で開催する。例年、3会場で開催し、その会場に来ていただいていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策による休校で授業数が減り、授業時数の確保と密を防ぐため、会場を各小学校の体育館に変更している。変更により、移動時間の短縮、広い体育館での開催により密になる環境を防ぐことができる。

次に、例年、小学6年生が出石永楽館で学校公演として狂言鑑賞を実施しているが、今年度は、学校公演は中止し、代替公演として小学6年生とその保護者を対象とした「出石永楽館狂言教室」を12月5日(土)、6日(日)に開催する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

サンタクロース会議の出演者のPCR検査は、来られる前に検査を実施されるのでしょうか。

(文化振興課長)

はい、サンタクロース会議の直前に検査していただく予定にしています。

(佐伯委員)

PCR検査は、豊岡で実施できるのですか。

(文化振興課長)

東京からお越しになる方が対象で、豊岡に来られる前に検査を受ける予定になっています。

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。議案第27号 豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 議案第27号 豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について、資料に基づき説明する。
豊岡市立新田小学校校長印の新調に伴い、寸法の変更を行うため公印規程の一部を改正する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

では、豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第27号 豊岡市教育委員会公印規程の一部を改正する訓令制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第22号 兵庫県豊岡市立新田小学校校長印の新調（改刻・廃止）について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第22号 兵庫県豊岡市立新田小学校校長印の新調（改刻・廃止）について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立新田小学校校長印の新調（改刻・廃止）について、資料に基づき説明する。

現在使用している校長印が経年劣化したため、新たに校長印を新調する。現在の校長印を10月31日で廃止し、11月1日より新しい校長印を使用する。それぞれの印影を付して告示する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、新田小学校長印の新調（改刻・廃止）について、ご承知おきください。
続きまして、報告第23号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第23号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。
団体2件、個人2件、合計4件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。
続きまして、報告第24号 豊岡市立特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認に関する規則の一部を改正する規則の制定について、こども育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第24号 豊岡市立特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認に関する規則の一部を改正する規則の制定について

《こども育成課長の説明概要》

豊岡市立特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認に関する規則の一部を改正する規則の制定について、資料に基づき説明する。

子ども・子育て支援法の改正により、引用する条項を改正する必要があるため、所要の規定の整理を行う。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第24号 豊岡市立特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業者並びに特定子ども・子育て支援施設等の確認に関する規則の一部を改正する規則の制定について、ご承知おきください。

続きまして、報告第25号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、こども育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第25号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《こども育成課長の説明概要》

豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

豊岡市認可保育所等運営事業補助金について、新型コロナウイルス感染症対策のために園舎内、遊具等の消毒作業、園児の検温作業及び健康観察等の感染対策を実施するために雇用した人員に係る人件費を補助するための要綱改正を行う。

補助率又は補助金等の額の項中、福利厚生費等運営費補助金に保育体制支援交付額を新たに組み込み、補助金の額は1箇所あたり月額100,000円を限度とする。また、豊岡市保育対策総合支援事業補助金のうちの保育体制強化事業に係る補助金の交付を受けた者は、この保育体制支援交付額の交付申請の対象外としている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第25号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、ご承知おきください。

続きまして、報告第26号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、こども育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第26号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《こども育成課長の説明概要》

豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら保育業務を継続している私立認可保育所等に対し、新型コロナウイルス感染症対策の向上並びに教育・保育サービスの安定的な提供に係る支援を行うための給付金を支給するための改正を行う。

新たに「豊岡市私立保育所等運営支援給付金」を加える。給付額は、令和2年10月1日における在籍児童数に応じて、500,000円から1,500,000円である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、報告第26号 豊岡市補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、ご承知おきください

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 「小中学校のあり方意見交換会」について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 「小中学校のあり方意見交換会」について（中間報告）

≪教育総務課長の説明概要≫

「小中学校のあり方意見交換会」の中間報告について、資料に基づき説明する。

意見交換会の目的は、「豊岡市立小中学校適正規模・適正配置審議会」での中間案である、適正規模・適正配置の考え方、再編の枠組み（案）について、保護者・地域住民との意見交換を行い、今後の審議会での検討資料とする。

保護者向けの意見交換会は、9月23日から10月6日の間に、地域ごとに6会場で実施し、240人の参加があった。今後、地域向けの意見交換会を、10月13日から10月29日の間に、同じく6会場で実施する。

意見交換会での保護者の主な意見は、複式学級の解消については、「複式学級は早期に解消してほしい」「子どもも先生も大変だと思う」、適正規模・適正配置については、「20人程度という規模は良いと思う」「将来を見据えて、もっと大きな枠組みで検討するべき」といった意見があった。再編の進め方については、「子どものことを第一に考え、市主導で再編を進めてほしい」「小規模校側の子どもの負担や地域の事を考え、丁寧に進めてほしい」、その他として、「統合したらこんなことができるなど、夢のある教育をしてほしい」「再編ありきであるのが残念、小規模校なりの良さを尊重してほしい。小規模校や複式学級が悪いような説明に聞こえた」といった意見があった。

保護者からの意見の傾向は、地域によりやや偏りがあるものの、概ね、再編についてはやむを得ないとの考えが多い。一方、もっと大きな枠組みでの再編を検討してほしいといった意見もみられた。また、保護者と地域では考え方が違うので、統合の希望はあっても、地域には話がしにくいといった意見が多くのお会場であった。逆に、現状で満足している、複式学級に不満はないという意見も少数ながらあった。

今後、意見交換会後に、第4回審議会で意見交換会について報告をし、審議を行い、2月に審議会から答申をいただく予定である。答申後と計画案の策定前に、それぞれ地域別説明会を開催

し、計画策定後には、順次、再編対象校区への個別説明会を行う予定である。同意を得られた校区については、準備委員会を設置し、統合にかかる協議を開始する。最も早い再編は2023年4月となる予定である。適正規模・適正配置のスケジュールを待てない地区で、統合の要望書の提出があれば、個別に対応を行う。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、こども教育課からの報告に移ります。(1) 問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

(教育長)

この報告は、各学校から市教育委員会に上げて、市教育委員会から県教育委員会に上げるというシステムになっていて、その様式を使っています。この問題行動というのが生徒間暴力や万引き、金品持ち出しといった行為、外向きの反社会的行為、それが報告されるようになっています。ひと頃はこれらの事案が多かったが、今はそうではなく、内向きで、引きこもったり、内向きで何らかの問題行動を起こしているということが問題で、こういうことは不登校以外上がってきません。学校訪問をしていますと、ある学校で1年生と3年生にリストカットの自傷行為があり、よく見ると、リストカットだけでなく、抜毛といって、眉毛を抜いている子もいて、知らず知らずに抜いているようで、ストレスが背景にあるようです。他の中学校でも、リストカットが当たり前のように毎年あると言います。そういうことの対応を全く組織的にやっていませんので、その報告も次月から上げてもらい、例えば、臨床心理士に入ってもらい、どんな対応をしたらいいのかとか、ストレスマネジメントの授業をしようとか、そんなことの基礎資料にしていきたいと思えますし、問題行動の背景が変わってきているということの確証を掴みたいと思えます。今、市内でそんなことが起きているということをご承知おきください。

(飯田委員)

先日の神戸新聞に、県下の不登校の問題が今までで一番心配な状況だというような記事がありました。何が原因なのだろうかと考えています。

(教育長)

やはり、コロナは大きな影響があったと思います。聞き取りをすると、はっきりコロナだけではないですが、そういう因子を持っていたり、背景を持っていたり、何かきっかけがあったら学校に行きにくくなるだろうなという子もいるので、その子らが学校に行かないということの生活リズムであるとか、あるいは、ネット環境であるとか、そういうことが、きっかけにはなっているのではないかと、学校はそういう判断で分析しています。コロナが大きなきっかけになっていると思います。

(飯田委員)

不登校は学力の問題につながってくるので非常に気になります。

(向井委員)

リストカットが今年だけではなくて毎年のようにあるということに驚いています。この間も新聞で、今、自殺者が多いという記事が出ていました。また、最近は芸能人の自殺が相次ぎ、先日は高校生の飛び降り事故もあり、子どもたちも立て続けに衝撃的な報道に触れることとなり、大きな影響を受けていると思います。豊岡でそのようなことはないと思いますが、注意深く見守っていただけたら有難いと思います。

(教育長)

続きまして、(2) 就学時健康診断の日程について、こども教育課長の説明をお願いします。

(2) 就学時健康診断の日程について

《こども教育課長の説明概要》

令和2年度就学時健康診断の日程について、資料に基づき説明する。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、密にならないようにするため、豊岡地区、日高地区を分散し、受付開始時間を区切り、14回7会場で実施する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 「修学旅行」「自然学校」「トライやる・ウィーク」の日程等について、こども教育課長の説明をお願いします。

(3) 「修学旅行」「自然学校」「トライやる・ウィーク」の日程等について

《こども教育課長の説明概要》

今年度の「修学旅行」「自然学校」「トライやる・ウィーク」の日程等について、資料に基づき説明する。

例年、トライやる・ウィーク、自然学校については、教育委員の皆さまに視察に行っていたが、コロナ禍の状況で1学期に開催することができず、例年とは異なる日程、内容となったため、今年度、視察は実施しないということを了解いただきたい。

小学校の修学旅行は、三方小学校が例年と行先を変更し、京都・奈良方面となっているが、それ以外は例年とほぼ同じ内容で行っている。ただ、行き帰りをすべてバスにしたり、立ち寄り先などもコロナ感染症対策をしっかりとやりながら実施している。

中学校の修学旅行は、例年、東京方面に行っていたが、今年度は、東京方面は止めて、各学校バラバラで、それぞれが保護者や子どもたち、教師と皆で話し合いを行いながら、行き先をどうするか、実施も含めて検討をし、各学校実施することになった。例えば、豊岡南中学校は、二日に分けて、宿泊なしで行う予定で、豊岡北中学校は、一泊二日で岐阜方面へと、各学校が考えて実施している。

自然学校は、例年四泊五日のところを三日間実施とし、二泊する学校もあれば、一泊三日のところもある。また、例年になく神鍋方面の民宿等にお世話になりながら実施するところが多い。

トライやる・ウィークは、例年のように企業に行き、そこで体験活動をするということが難しい状況であり、今回は、地域に出向いて行き、地域の人と協力しながらボランティア活動等を行うというような形で、全ての学校が一日間という非常に短い日程だが実施している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

(4) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

こども支援センターの活動状況について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級児童生徒数は、実数10人、延べ64回となっている。9月下旬から毎日来所できている生徒があり、徐々に増加している。9月18日には新温泉町・香美町との交流会を開催した。また、火・水・土曜日に臨床心理士が行っているカウンセリングは、10枠中7人の方が利用された。

特別支援の取組状況は、センターへの来所や学校園訪問による教育相談が68件、各種検査が15件と昨年より増加している。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待相談件数の実件数は28件、虐待通告は2世帯4人あった。1件目は、小1男児に対して父が物を投げ、顔にあざができたもので、就学前女児がそれを目撃したため、身体的と心理的虐待で受付をしている。小学校が虐待を隠そうとする母と面談を行い、母から父に指導を行うとことで同意が取れ、小学校にさらに見守り強化を依頼している。2件目

は、長時間のゲームで生活のリズムが崩れた小5男児に母が学校に行かせるために暴力をふるったもので、同居の弟もこれを見ていたため、心理的虐待とし受付をしている。小学校から母に指導をし、経済的な困窮と子どもへの関わり方に悩みがあったため、こども支援センターで継続して支援をしていく。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1) 2021年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について、(2) 2021年度放課後児童クラブの入所者募集について、こども育成課長の説明をお願いします。

(1) 2021年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について

《こども育成課長の説明概要》

2021年度の幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について、資料に基づき説明する。

申込期間は、いずれも11月9日(月)から30日(月)までである。

幼稚園は、園区内に住民登録がある対象児童のうち、4・5歳児の在園児を除いて、10月下旬に各家庭に案内を郵送予定で、各幼稚園で申込みとなる。保育料は無料となる。

保育園は、こども育成課、各振興局地域振興課、各保育園で申込みを受け付ける。来年4月に新たに小規模保育事業所が開設予定であり、今回併せて申込みを受け付ける。

認定こども園は、4・5歳児の教育認定児には、幼稚園児と同様に在園児を除いて、10月下旬に案内を郵送予定で、各認定こども園で申込みとなる。

(2) 2021年度放課後児童クラブの入所者募集について

《こども育成課長の説明概要》

2021年度の放課後児童クラブ入所者募集について、資料に基づき説明する。

申込期間は、11月9日(月)から30日(月)までである。対象は、市内の小学校に就学する放課後留守家庭児童となっており、受入れに余裕がある場合は、幼稚園児も受入れる。ただし、幼稚園児の利用時間は、午後4時までである。

申込先は、新規の方は、こども育成課、各振興局地域振興課、継続の方は、各放課後児童クラブである。

来年度は、奈佐小学校が五荘小学校と統合するため、奈佐放課後児童クラブは廃止となる。また、港東小学校と港西小学校が統合されるため、港東、港西の放課後児童クラブも廃止となり、港放課後児童クラブ(仮称)を開設予定としている。来年度、市内の放課後児童クラブは、34カ所から32カ所となる。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

日程第7 委員活動報告に移ります。

(成田委員)

文化振興課から豊岡市美術展の案内がありましたが、私は、豊岡市美術展に企画委員として関わっています。先日、美術講座があり、審査員である兵庫教育大学の教授が、子どもの造形教育に関する話をたくさん入れながら、大人の芸術活動に関するお話をされ、大変参考になるお話を聞かせていただきました。先生が言われるには、子どもの好きな教科というのがあり、1位は断トツで算数、2位、3位あたりに絶えず図工が入っている。特に、図工というのは、学年が低くなればなるほど好きな子が多く、高学年になると減ってくる。それはたぶん、上手に描かなければならない、物を作らなければならないという意識が働くために、うまくいかないなあという思いになるのだらうと思います。小学校全体を通して図工が好きだ、特に、低学年で好きだというのはなぜだろうと考えました。わりと自由に自分の個性や独創性を発揮できるからではないか、そして、どんな絵や工作物でも先生が「あなたの個性が出ているね」というような褒め方をしてくれているのではないか、だから表現することが楽しく、図工が好きな教科の上位に上がっているのではないかと思います。ちなみに、嫌いな教科は何ですかといたら、断トツに算数です。嫌いな教科に図工は入ってきません。手前味噌を言って申し訳ないですが、図工の持つパワーを市展の先生の講座によって改めて感じた次第です。先生は、こういう観点で子どもたちの絵を選びますということもお話ししてくださいました。大変勉強になりました。

この市展は、幼児から大人の絵までずらっと並んでいて、たくさんの市民が詰めかけられます。これほどたくさんの市民が来られるイベントは、豊岡市ではなかなかないと思い、それを大きな誇りにしています。特に、ちょっと硬い感じがしていた高学年・中学生が、今年は少し変わってきつつあるという印象を持っています。柔らかさや自由さが出てきているように思います。特に、高校生は上手な絵を描いていますが、そこから更に脱皮した、もっと自分の個性や独創性が発揮された絵が増えていると思います。1人でも多くの市民の方に観に行っただけなら嬉しく思います。

(佐伯委員)

幼稚園・小学校・中学校の学校訪問に行かせていただきました。どの学校でも、とても子どもらしい姿が見られ、子どもたちには変化のある一年ですが、子どもたち

なりに工夫し、楽しく過ごしているのではないかと感じました。その中で、コロナの影響が多少なりとも出ている子どももいると聞きますので、早く子どもたちが心穏やかに過ごせるような日常が戻ればいいと思います。そんな中、政府から年始の休暇を1月11日まで延長するような話が出ました。学校がどうなるかはわかりませんが、もしもそれが実行されるとしたら、子どもたちにとっては、やっと学校のリズムが戻ってきたところです。また長期の休みになってしまうと、何らかの影響が出るのではないかと不安に思っています。

それから、小中学校のあり方意見交換会についてですが、保護者の皆さんは切実に「今」を考えておられ、「今すぐに」という意見がたくさんありましたので、早く願いが叶うように実行することを願います。地域の皆さんからは大人の都合の意見が多くて、とても残念に思いました。地域の皆さんは未来のことを大事にと言われていますが、未来も大事ですが今も大事で、子どもたちのことがいちばん大事なので、子どもたちの視点で、子どもたちを第一に考えて、意見を出していただきたいと思いました。今回、保護者と地域の方と別々に意見交換会をされたことは、本当によかったと思います。やはり地域の皆さんの意見を聞いていると、保護者の方はなかなか意見を言いづらい感じがありました。今回、別々に開催したことで、多くの保護者のストレートな意見が聞けたと思います。

(向井委員)

めぐみ幼稚園に園訪問に行かせていただきました。運動遊びをしていましたが、先生は上手に褒めながらも子どもたちの主体性に任せておられたので、子どもたちは相談しながら進めていました。先生方の上手な指導に感心し、これがまさしく豊岡市が進める主体的で対話的な教育なのだと思いました。

それから、今日午前中のオンライン会議の講演では、非認知能力を向上させることの大切さや、コミュニケーション教育の重要性をお聞きしました。子どもたちに答えがない課題を考えさせて、その中で子どもたちを褒めたり、良いところを見つけたりすることは、先生の見方によって左右されることなので、先生方の技量が必要になり、子どもを観る力が大切になってくると思いました。学校訪問のときには、小学校の先生方が日常的に授業の中に対話的・主体的な要素を取り入れてくださっていると感じたことがあります。これからもそのような機会をたくさん作っていただきたいと思いました。

(飯田委員)

昨日、北近畿豊岡自動車道の北進に伴うイベントがあり、参加してきました。そこで感じたことは、この道路は「命の道路」だと言われていまして、物流・交流・文化など、今、豊岡がめざす、教育でもやっている、豊岡出身の子どもたちが豊岡に帰ってくるための「回帰道路」かなと私は思いました。是非、この道路が出来たことによって、豊岡を出てもまた帰ってきなさいよということを含めて、豊岡の良さを売るひとつの手段にしてほしいと思いました。やはり豊岡にいれば多種多様なことが学べ、良いことがある、出るだけでなく、帰ってくることも考えてほしい、そんなことを思っていました。

2つ目は、先日、香美町の幼稚園の運動会練習で、先生が子どもの手点数を書いていたというニュースがありました。ベテランの先生でしたが、やはりベテランになればなるほど、自分のやっていることが正しいと自分で思ってしまうことが、いい方向にいけばいいのですが、いろい

ろなところに大きな穴があるのだなと改めて思いました。先生には、日頃から勉強というか、精進というか、そういうことがとても大事だと思いました。豊岡でも先生方は大変だと思いますが、そのあたりを意識しながら子どもたちを見てほしいと思いました。

3点目は、午前中のオンライン会議での講演を聴き、とても勉強になりました。私もワークショップの視察に行ったときに、私自身がそこで感じた見方、評価の仕方と、今日、講演を聴いて、自分にはこういう視点が足りなかったということが分かりました。先ほど向井委員が言われていたように、先生の子どもたちを観る力、あるいは、その行動のあり方、子どもは表現ができなくても、次はきっと表現するだろうなど期待されていたこと、そういうことが分からないまま最初は視察していましたが、いい勉強になりました。今度からはそういう目線で見たいと思います。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第8回教育委員会会議は、11月20日（金）午前9時30分から、本庁舎3階庁議室で開催する。また、第9回教育委員会会議は、12月24日（木）午前9時30分から、同じく庁議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課参事兼課長補佐の説明概要》

第2回総合教育会議を11月11日（水）午後3時から、本庁舎3階庁議室で開催する。その会議に先立ち、学習会を11月9日（月）午前9時から開催させていただく。会場については、改めてお知らせする。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は、11月20日（金）午前9時30分から、本庁舎3階 庁議室で開催します。

これもちまして、第7回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後2時30分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2020年10月26日

教育長

委員